

## 第2章 計画の基本的方向

### 1 基本理念

本計画では、住み慣れた家庭や地域で元気に活躍できる環境を整えるとともに、高齢者が社会的役割を持って自立する生活を尊重し、介護や支援が必要となっても、一人ひとりが尊厳を持って心身ともに充実した日常生活を実感できる高齢社会を地域全体でつくりあげていくことをめざし、

**「地域で支えあい、高齢者が住み慣れたわがまち能代で、いつまでもいきいきと安心して暮らせるまちづくり」**

を基本理念とします。

### 2 基本的目標

#### ○人間性の尊重

高齢者の長年にわたる社会への貢献に感謝し、豊富な知識や経験に畏敬の念を抱き、心から敬愛するとともに、高齢者が社会の一員として生きがいを持って健全で安らかな生活を送ることができるよう、個人の自立と尊厳を守ります。具体的には、次の4つの個別目標を掲げます。

#### (1) 活力ある高齢社会の実現

高齢者が地域社会の中で、常に心身の健康を保持し、自らの知識と経験を生かして積極的な役割を果たしていくことができるよう、高齢者の健康づくりや介護予防に努めるとともに、社会参加や交流の機会、就労・学習機会の充実を図ります。

#### (2) 在宅生活の総合支援

高齢者が住み慣れた地域社会の中で自立した生活を送ることができるよう、一人ひとりの状況に応じた、総合的な介護予防マネジメントを推進する必要があります。また、安心して在宅で生活が続けられるよう、介護保険サービスと保健・医療・福祉サービスなどの連携により、包括的な相談、支援体制を構築し、老後の生活の不安解消に努めます。

#### (3) 入所施設の整備

常時介護を必要とする高齢者が自宅等で暮らすことが困難な場合であっても、安心して施設サービスを受けることができるよう、地域における既存施設の整備状況を十分に踏まえた上で、必要な施設

サービスの整備促進を検討します。また、療養病床の実態を把握し、医療の必要性により医療、介護の給付の適正化につながるよう、療養病床転換計画を反映します。

#### (4) 地域支援体制の構築

高齢者をはじめとするすべての市民がそれぞれの生き方を尊重し理解し合えるよう、市民相互の交流や地域連帯の意識の醸成に努めるとともに、誰もが暮らしやすく活動しやすい基盤整備が必要です。そのため、地域住民やボランティア、民間事業所やNPO（非営利組織）などの幅広い参加により、地域において高齢者の自立や高齢者の介護を支える仕組みの構築に努めます。

<b>全体目標</b>	<b>人 間 性 の 尊 重</b>
	<p>計画全体に関わる基本的な目標として「人間性の尊重」を掲げ、高齢者が社会の一員として生きがいを持って健全で安らかな生活を送ることができるよう、個人の自立と尊厳を守ります。具体的には、次の4つの個別目標を掲げます。</p>
<b>目標 1</b>	<b>活力ある高齢社会の実現</b>
	<p>高齢者の健康づくりや介護予防に努めるとともに、社会参加や交流の機会、就労・学習機会の充実を図ります。</p>
<b>目標 2</b>	<b>在宅生活の総合支援</b>
	<p>介護保険サービスと保健・医療・福祉サービスなどの連携により、包括的な相談、支援体制を構築し、老後の生活の不安解消に努めます。</p>
<b>目標 3</b>	<b>入所施設の整備</b>
	<p>地域における既存施設の整備状況を十分に踏まえた上で、必要な施設サービスの整備を促進します。</p>
<b>目標 4</b>	<b>地域支援体制の構築</b>
	<p>地域において高齢者の自立や高齢者の介護を支える仕組みの構築に努めます。</p>